

大町市文化資源活用ビジョン（案）に対してお寄せいただいたご意見の概要と考え方

大町市総務部企画財政課芸術文化振興係

- 1 募集期間 平成28年1月29日～平成28年2月27日
- 2 件数 2件
- 3 ご意見の概要と考え方

No.	お寄せいただいたご意見（概要）	考え方
1	<p>「文化資源」の定義とはなにか。</p>	<p>大町市の自然環境や風土、建造物や街並み、衣食住をはじめとする暮らし、歴史、言語、伝統芸能や祭り、芸術的な創作活動、市民活動、産業、遊休施設などを「文化」として広義に捉え、この多様な「文化」を活用するという視点で見直した時に、「文化資源」になると考えており、本ビジョン（案）第1章中の1策定の趣旨において定義しております。</p> <p>この中には当たり前のように思われて意識もされていないかもしれない文化も「文化資源」として活かすためには、市民の皆さん一人ひとりや関係する皆さんが気づきや関心をもつことが重要だと考えております。</p>
2	<p>木崎湖など自然について、今残っている自然を守る事を大前提にして、自然を最大限に活用・共存できる政策が必要。</p> <p>また、壊してしまった自然を可能な場所から元に戻すべきである。予算について、公共事業の新しい道路工事や改修を見直し、不必要な部分の予算は、自然環境の保全・復元にまわすべきではないか。</p> <p>自然環境の整備を、大町の生涯学習や子供の教育に加える。言葉でなく、行動で学べるような取り組みが欲しい。子供達には自然の中で沢山遊んで、学んでほしい。その為の大町らしい教育の実施をお願いしたい。</p> <p>今、大町では北アルプス国際芸術祭について色々議論がある。芸術祭には賛成だが、そのやり方は直して欲しい部分も多くある。この芸術祭が、誰が、誰の為にどんな事をするのか、今一度考えて進めてほしい。市民と行政が、小さくも確かに協働できるよう願います。</p>	<p>本ビジョン（案）では、「大町市の豊かな自然環境を次の世代へ引き継ぐために、自然環境の保護・保全を進めていかなければなりません。」と記載しておりますが、今回、お寄せいただいたご意見の内容を踏まえ、ビジョンの中へ「自然を守り大切にすること意識の醸成」と「自然と触れ合い親しむ機会の充実」の記載を追加いたします。</p> <p>また、ご意見の趣旨は、今後の事業の参考とさせていただきます。</p> <p>本ビジョン（案）では、現代アート芸術祭の開催支援の中で原始感覚美術祭や食とアートの回廊などの芸術祭の開催支援と記載しておりますが、北アルプス国際芸術祭開催の具体的な内容を示すビジョンではありませんので、この点についてはご理解ください。</p> <p>今回、北アルプス国際芸術祭について、貴重なご意見をいただきましたので、ご意見の趣旨は、実行委員会に伝え今後の事業の参考とさせていただきます。</p>